

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和元年5月17日（金）
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

来週からいよいよ運動会特別時間割

朝は寒いと感じる日があるものの、日中はだいぶ暑くなってきました。各学年では運動会に向けての練習が本格的になってきて、体育集会でも全校整列練習などが行われています。もうすぐ運動会だという気持ちが高まってきていますね。来週からは特別時間割。いつも以上に疲れがたまると思いますので、夜は早めにぐっすり寝られるようご配慮ください。朝飯をしっかり食べ、元気に登校できますよう、引き続きよろしく願いいたします。



体育集会
体操の隊形練習

「中洲小に、桑の木はありますか？」

先週のことです。校長室で仕事をしていると、“トントン”とノックする音。「どうぞ。」と言うと、たくさんの2年生が校長室に来てくれました。「この学校に桑の木はありますか？」という質問。「・・・ごめんね。まだ来たばかりでよく分からないから、調べてみるね。」子ども達に謝りました。「校長室に聞きに来てくれてありがとね。どうして私のところに来てくれたの?」「だって、校長先生は学校のことを1番よく知ってるでしょ!」(・・・が、がんばります!!)

【みどりの少年団 花フェスタに参加】

◆5月11日(土) 長野県みどりの少年団交流会◆

4月25日から6月16日まで、松本平広域公園をメイン会場に、信州花フェスタが行われています。5月11日には、県下各地から22校のみどりの少年団が参加し、県民広場にて交流集会が行われました。中洲小からは6名の児童が参加し、午前中は各校の活動発表、午後は体験学習を行いました。

中洲小の発表は、前の週に行った守屋山登山についてで、登った時の写真を交えながら、森林を守る大切さなどを他校の児童にしっかりと伝えることができました。頑張ったね! ありがとう。



田植えをする5年生。手前は中洲クラブの田んぼ

【田植えが無事終わりました】

中洲クラブは11日(土)、5年生は14日(火)に田植えを行いました。中洲クラブの田植えの様子は、中洲クラブ便りをご覧ください。私は、みどりの少年団の発表を見に松本へ行って田植えに出席することが出来ませんでした。参加して下さった児童・保護者の皆さんありがとうございました。

5年生は、雨が心配された中でしたが、何とか天候ももち、無事田植えを行うことができました。一生に一度という児童もたくさんいると思います。貴重な体験をさせていただき感謝です。おいしいお米になりますように。

◆給食が、とってもおいしい中洲小◆

朝は、出張などが無い時は玄関（主に1年生）で「おはよう」の挨拶をして子ども達を迎えたり、その後各教室を回って子ども達に挨拶をしたりしています。先日、校舎を回っている中で、給食室に立ち寄りしました。その時に調理員さん達のチーフ・濱奈々子さんとしたお話を少し紹介させていただきます。

濱さんはじめ調理員さん達は、子どもにとって給食が学校生活の中でとても大切な役割を果たしていることを大事に考えてくださっています。ですから、給食が嫌だから学校に行きたくないなどと子ども達が言わないように、細心の注意を払って様々に心を遣ってくださっています。

例えば、野菜の切り方。自分のと隣の子の野菜の切り方が違う（〇〇ちゃんの方が大きいとか小さいとか）ことでもめたり悲しい思いをしたりする子がいないように、みんな同じ形や大きさになるように心がけているそうです。また、うずらの卵やエビの数などでもめたりしないように、数も正確に数えるそうです。全体としておいしく作るではなく、一人一人の給食がどれも同じようにどれもおいしく食べられるように、と考えてくださっていることがお話の中でよく分かりました。

そして、給食室に食器を取りに行ったり返したりする時に、子ども達や先生が給食の感想や感謝の言葉を伝えてくれることが何より嬉しいともっていました。

写真は、給食室前の掲示です。4月は桜やチューリップや蝶々でしたが、掲示も衣替えして、今は上の写真のような掲示です。壁だけでなく空間も利用して、子ども達が給食室に来たくなるようなわくわくする掲示を手作りしてくださっています。

お子さんは、うちで給食の話をするでしょうか？ぜひ、献立を見ながらご家庭でも給食のことを話題にしてみてください。本当に毎日おいしい中洲小の給食です^^

4月

給食室前の掲示



【クリームソーダの思い出】

私は、3人兄妹の真ん中です。兄は初めての子で長男、妹は末っ子で女の子、父や母にとって私は3人の中で1番かわいくないんじゃないかなどと考えるような、ひねくれた小学生でした。不思議なもので、兄と妹は東京の大学に行きそのまま東京で仕事をしていますが、1番親に反発していた私が地元に残り、今実家から車で5分の所に暮らしています。

小さい頃の思い出というと、父親によく読聞かせをしてもらったことを思い出します。母は、3人の子育てや祖父母の面倒をみたりすることでいつも忙しそうでした。今でも、実家に行くとその頃父に読んでもらった本が残っていて懐かしく思い出します。私も、もっと自分の子どもに読聞かせをしてあげればよかったなあと後悔していますが、私の代わりに父と母が本当によく読聞かせをしてくれていました。父と母の協力で何とか仕事を続けて来られたなあと、感謝の気持ちでいっぱいになります。

母との思い出で真っ先に思い浮かぶのが、たま〜にあった2人だけの時間のことです。私の習い事の迎えにはたいてい妹と一緒に来たのですが、たまに母が1人で来てくれる日がありました。いつもはすぐに家に帰るのに、ある時母が私だけ買い物に連れて行ってくれ、クリームソーダをご馳走してくれたことがありました。初めて飲んだあの味は忘れることができません。母と私だけの秘密ができたことがとても嬉しかったです。

お子さんが何人もいるご家庭では、その子だけと2人きりになる時間を取るのはいかなかなか難しいかも知れません。でも、きっと子どもにとってははるく幸せな時間になるのではないかと思います。時々、そんな時間もうまくやりくりしてつくってあげてくださいね。その子にとっては、きっと一生心に残る宝物の時間になるのではないのでしょうか。



* * * * *

茅野で起きた教職員の事件につきましては、中洲小の保護者の皆様にも多大な不安や心配をおかけし大変申し訳ありません。心よりお詫び申し上げます。

今回のことを大変重く受け止め、私自身も大変悲しく悔しい思いしております。中洲小学校では、これまで以上に職員同士のつながりを強め、お互いに安心して物が言い合える関係づくりを進めるとともに、子ども達のために一生懸命教育活動に取り組んで参る所存です。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。